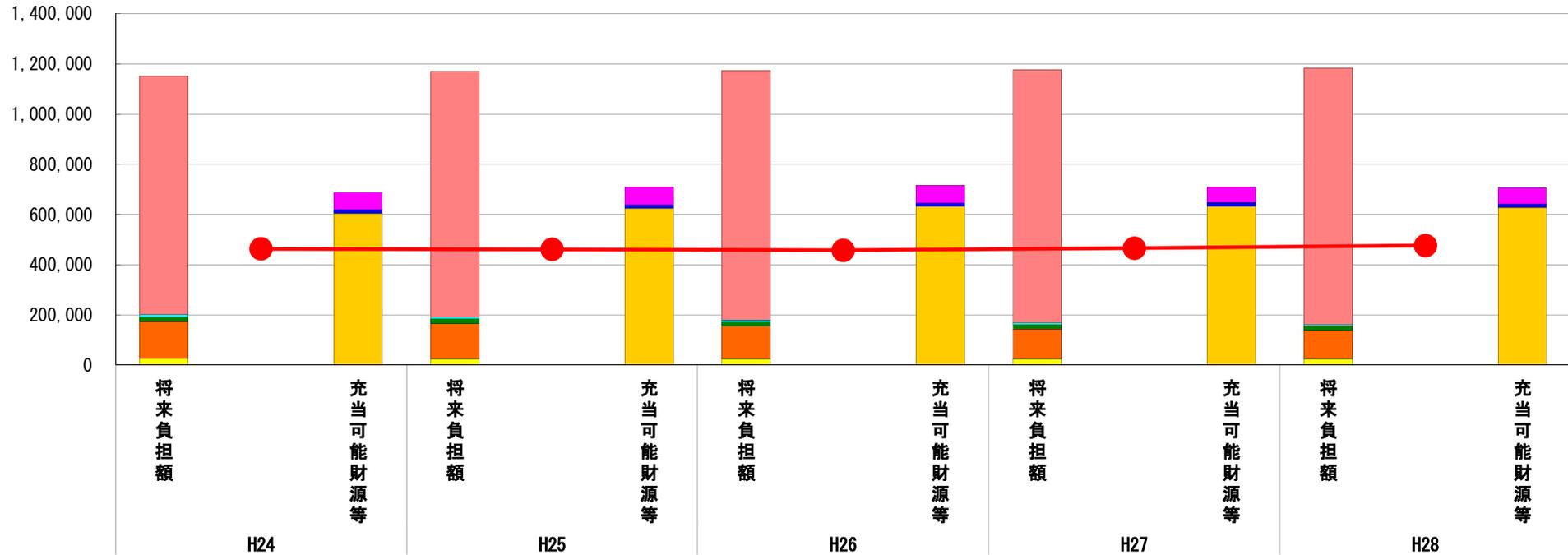


(10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成28年度

和歌山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		949,365	977,993	993,079	1,006,493	1,020,761
	債務負担行為に基づく支出予定額		9,822	8,830	7,896	8,139	3,865
	公営企業債等繰入見込額		19,333	18,693	18,155	17,578	16,844
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		146,278	139,466	129,154	118,043	114,775
	設立法人等の負債額等負担見込額		26,382	26,007	25,504	25,582	25,792
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		68,427	70,901	69,102	62,770	63,674
	充当可能特定歳入		15,686	14,269	14,192	14,027	13,735
	基準財政需要額算入見込額		603,719	624,617	632,838	632,652	627,999
(A) - (B)	将来負担比率の分子		463,348	461,201	457,655	466,385	476,630

分析欄

平成28年度の将来負担比率の分子は、経済対策のための国補正や消防学校建替等に伴う新規の県債発行による県債残高の増加等のため、前年度に比べ102億円増となった。

今後、予算の収支不足を補うための退職手当債や行政改革推進債等を活用した場合、将来負担は増加していくおそれもあるため、事業の効率化・重点化によりこれらの県債発行を抑制するなど行財政改革の推進により健全化を図っていく。